


平成18年9月中間期

会社説明資料

平成18年12月

 株式会社 星製作所

(ジャスダック・8191)

会社のプロフィール

 株式会社 光製作所

平成18年9月現在

商号 株式会社光製作所

本社 東京都荒川区東尾久4丁目7番1号

代表者 代表取締役社長 安岡 光雄

設立 昭和34年4月

資本金 3,887百万円

売上高 12,494百万円(平成18年3月期実績)

従業員 70人

会社の沿革



- 昭和30年8月 荒川区尾久町2丁目434番地において代表取締役社長安岡光雄が有限会社安岡製作所を設立創業。
- 昭和34年4月 資本金1百万円の株式会社に改組、商号を株式会社光製作所に変更。
- 昭和38年3月 大阪市生野区に大阪支店を新設。
- 昭和45年10月 足立区に小台配送センターを新設。
- 昭和47年6月 大阪支店を大阪支社に改称、併せて現在地に支社ビルを新築移転。
- 昭和52年1月 業務拡張に伴い現在地に光流通倉庫を新築、同時に小台配送センターを廃止。
- 昭和56年9月 東京店頭登録銘柄として店頭市場へ株式を公開。
- 昭和59年3月 資本金を3,887百万円に増資。
- 平成16年12月 株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場。

事業内容

当社の企業集団は、当社、親会社、関連会社26社で構成され、業務用家具、リビング用家具、インテリア商品、育児・学童家具及びオフィス家具の販売並びに不動産の賃貸を主な業務内容として、事業活動を展開しております。



平成18年9月中間期

決算概要

 株式会社 旭製作所

(ジャスダック・8191)

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善から民間設備投資は増加し、雇用環境も改善していることから個人消費も堅調に推移し、景気は回復傾向にありました。

当家具・インテリア業界は景気動向に連動せず、低迷が長期化しております。未だに家具への消費意欲は本格的回復には至らず、加えて企業間競争が激化し厳しい状況が長引いております。

このような経済環境下におきまして、当社は市場競争力のある商品開発と営業活動を推進してまいりました。その結果、売上高は5,061百万円(前年同期比5.7%減少)となりました。

利益面では、営業利益は売上高が減少したこと、貸倒引当金計上等もあり、886百万円(前年同期比18.8%減少)、経常利益もオプション評価損計上の影響を受け、804百万円(前年同期比52.0%減少)、中間純利益は、固定資産売却損益の発生等により、638百万円(前年同期比33.8%増加)となりました。

中間損益計算書(非連結)

光 株式会社 光製作所

(単位:百万円)

	18年9月中間期	17年9月中間期	増減額	備考
売上高	5,061	5,364	303	
売上原価	3,610	3,834	223	
販売・管理費	564	438	125	
営業利益	886	1,092	205	
営業外収益	706	640	66	
営業外費用	788	55	732	
経常利益	804	1,676	871	
特別利益	821	7	814	
特別損失	549	876	327	
中間純利益	638	477	161	

中間貸借対照表(非連結)

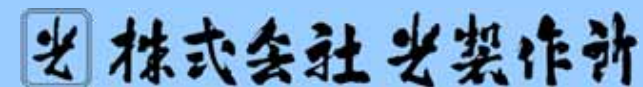
(単位:百万円)

	18年9月中間期	17年9月中間期	増減額	備考
流動資産	10,381	8,384	1,996	
固定資産	29,602	30,092	490	
資産合計	39,984	38,477	1,506	

流動負債	2,437	2,535	98	
固定負債	2,081	1,797	284	
負債合計	4,519	4,333	186	

資本金	3,887	3,887	-	
資本剰余金	4,947	4,947	-	
利益剰余金	26,080	24,887	1,193	
純資産合計	35,464	34,143	1,320	

中間キャッシュ・フロー計算書(非連結)



(単位:百万円)

	18年9月中間期	17年9月中間期	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	1,463	1,329	133	貸倒引当金が減少した一方、オプション 評価損、為替差益等の増加による。
投資活動による キャッシュ・フロー	2,648	610	3,259	有形固定資産の取得があった一方で、 有形固定資産の売却もあったため。
財務活動による キャッシュ・フロー	640	601	38	短期借入金の減少による。
現金及び現金同等物の 増加額	3,497	288	3,208	
現金及び現金同等物の 期首残高	386	292	94	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	3,884	580	3,303	

セグメント別売上高

(単位:百万円)

セグメント	18年9月中間期		17年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
家具商品事業	3,734	73.8%	4,034	75.2%	299	7.4 %
不動産賃貸事業	1,326	26.2%	1,330	24.8%	4	0.3 %
合計	5,061	100.0%	5,364	100.0%	303	5.7 %

家具商品事業

家具商品事業は総じて売上が減少しており、特にリビング用家具の落ち込みが響いております。

唯一増加した育児・学童家具は、下半期の受注分が例年に比べ前倒し傾向にあり、売上計上が早まった影響によるものであります。

不動産賃貸事業

ほぼ横這いに推移いたしました。

平成19年3月期

業績予想

 株式会社 旭製作所

(ジャスダック・8191)

平成19年3月期 業績予想 (非連結) 株式会社 北製作所

(単位:百万円)

	19年3月期	18年3月期	増減額	備考
売上高	12,000	12,494	494	
経常利益	1,957	3,000	1,043	
当期純利益	1,240	1,172	67	
EPS (円)	66.39	62.75		
ROE	3.5%	3.3%		

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 株主資本利益率

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

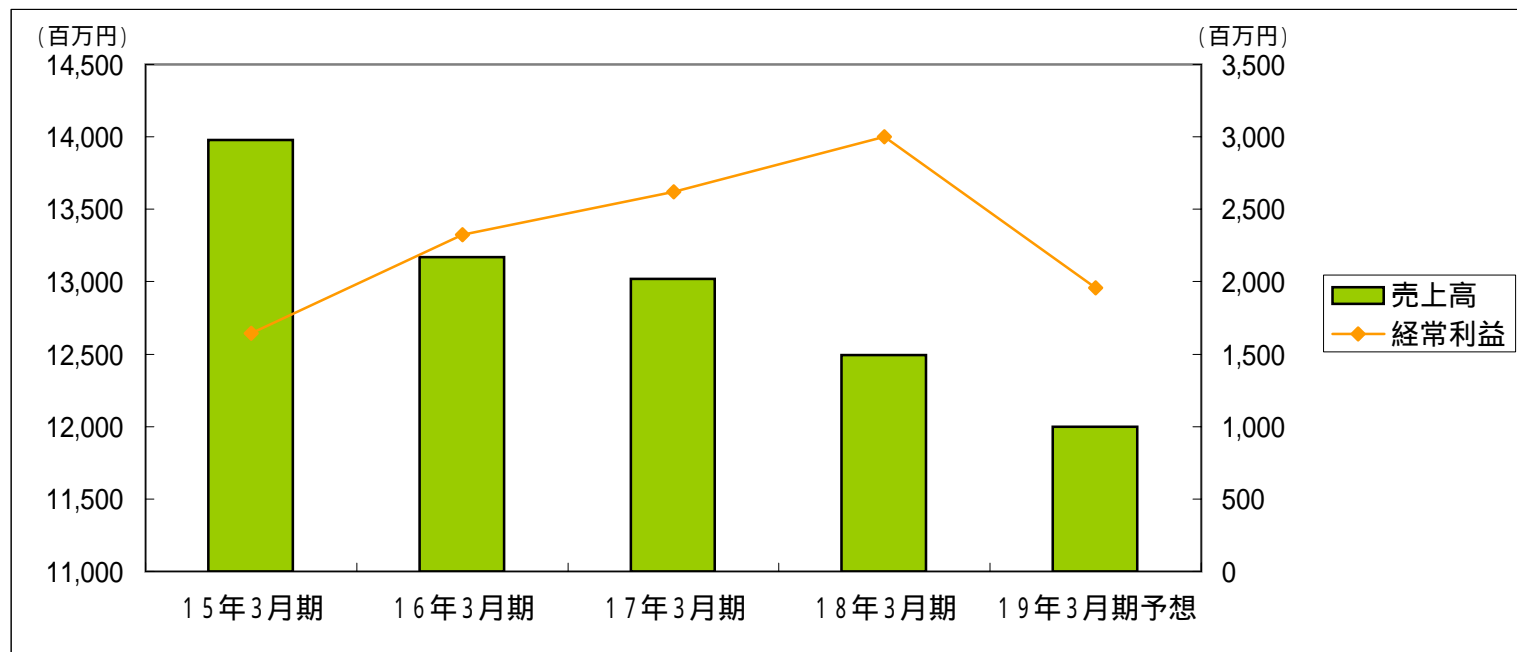
経営方針

当社は創業以来、家具を通じて「快適な住空間の創造」をテーマとし、市場における多種多様なニーズに応ずるべく商品の開発に努め、家具を安定的に供給することをもって社会に貢献することを基本方針としております。

今後の取り組み

当社は商品開発に注力して魅力ある商品、競争力のある商品を創造し、売上の拡大を図ることを目指します。また、グループ一丸となり、製造部門では原価の低減に努め、販売部門では、販路の開拓、拡充に向けた営業力の強化に努めることにより、家具市場でのシェアの拡大を図ることが重要課題であると考えております。さらに、企業の財務体質を強化し、効率的、継続的に利益を確保し、発展を続ける企業経営に向け邁進してゆく所存であります。

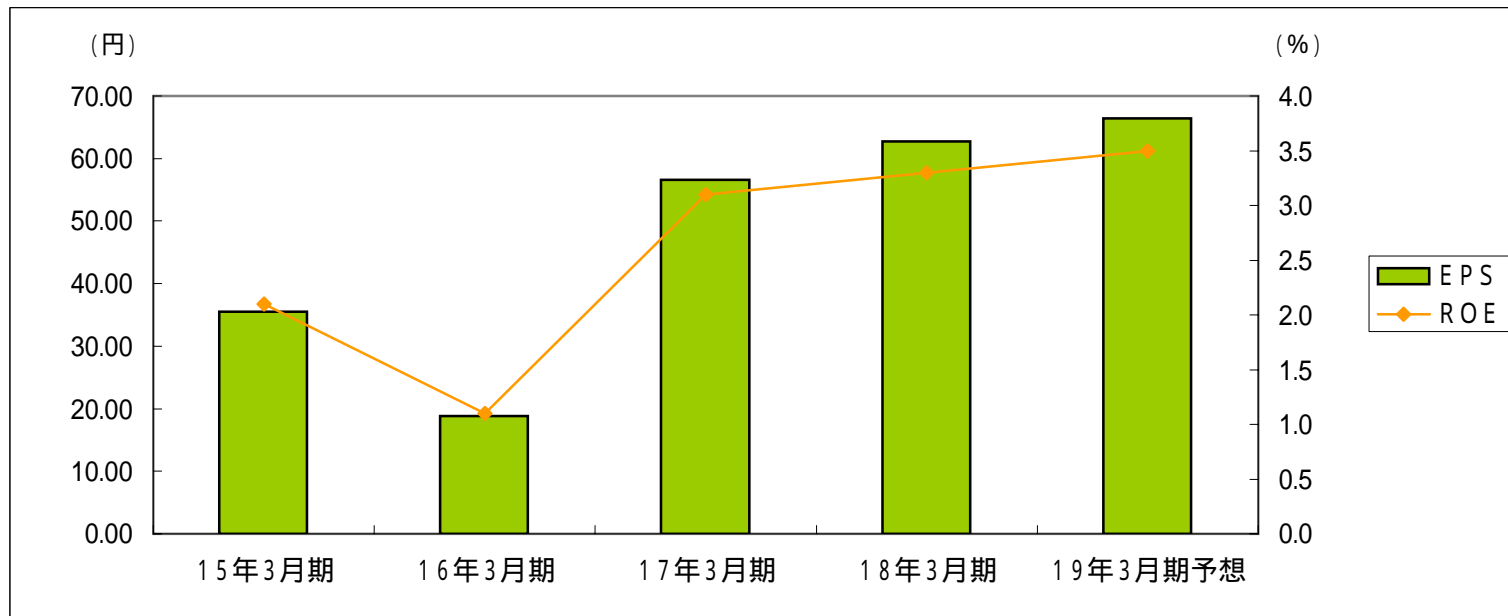
売上高・経常利益の推移(非連結)



(単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期予想
売上高	13,978	13,169	13,020	12,494	12,000
経常利益	1,646	2,324	2,619	3,000	1,957

EPS・ROEの推移



(単位: 百万円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期予想
EPS	35.55	18.79	56.62	62.75	66.39
ROE	2.1	1.1	3.1	3.3	3.5



株式会社 星製作所

総務部

TEL : 03-3800-0111